

■ 消火栓・放水口の種類

① 屋外消火栓

65Aのバルブとホース、ノズルが設置されています。屋外に設置され、有効範囲は1階および2階です。

② 屋内消火栓(1号消火栓)

40Aのバルブとホース、ノズルが設置されています。大半は機器収容箱とホース格納箱の二段式構造です。

③ 屋内消火栓(2号消火栓)

25Aのバルブとホース、ノズルが設置されています。機器収容箱とホース格納箱の二段式です。ホースの格納はバケット式かリール式となっています。一人での操作が可能です。

④ 放水口(消防隊専用栓)

65Aのバルブが設置されています。消防隊専用の設備です。

⑤ 高層階用屋内消火栓併設型

一般的に11階以上に設置され、65Aのバルブとホース、ノズルに加え、40Aのバルブ、ホース、ノズルが併設されています。また、非常コンセント、非常電話が設置されている場合もあります。

⑥ ホース格納箱

65Aのホース、ノズルが格納されています。消防隊専用の設備です。

※消火栓の種類や設置状況は他にも色々あります。

STAINLESS-STEEL
RENEWAL

■ 設置状況の違い

㉑ 腰壁取付型

厚さ120~170mm、高さ700~1500mmほどの腰壁に設置されています。既設BOX撤去の時、モルタルと一緒に剥がれることがあります。

㉒ 壁埋込型

扉と外枠以外が埋込まれて設置されています。インサート金具、中材、外材の3つに分かれているものがよく見られます。モルタルの剥がれに注意します。

㉓ 手摺取付型

共用廊下や屋外階段の手摺の柱に金具等で取付けられています。柱がアルミ製の場合、強度を検討する必要があります。

㉔ 架台(基台)取付型

底面を架台(基台)にボルト等で取付け、設置されています。架台の状態が悪く、その交換を必要とする場合もあります。



● 販売元

● 製造元

株式会社 マルニシ

FIRE HYDRANT BOX
消火栓BOX
ステンレス製
RENEWAL

OUTLET BOX
放水口BOX
ステンレス製
RENEWAL

STAINLESS-STEEL RENEWAL

特長

■ステンレス[SUS304]素材

金属の腐食は、ホコリ、鉄粉、排気ガス、亜硫酸ガス、潮風、雨水などが原因となっています。ステンレスは他の金属に比べ、耐蝕性に優れ、腐食しにくい金属です。又、メンテナンスで表面のホコリ等を取り除く際に、傷をつけてしまった場合でも、すぐに酸化皮膜が再生されるため耐久性も抜群です。

■オーダーメイド

消火栓や放水口BOXを既設に合わせて埋込型や露出型など、設置状況に合わせた改修用BOXを製作いたします。

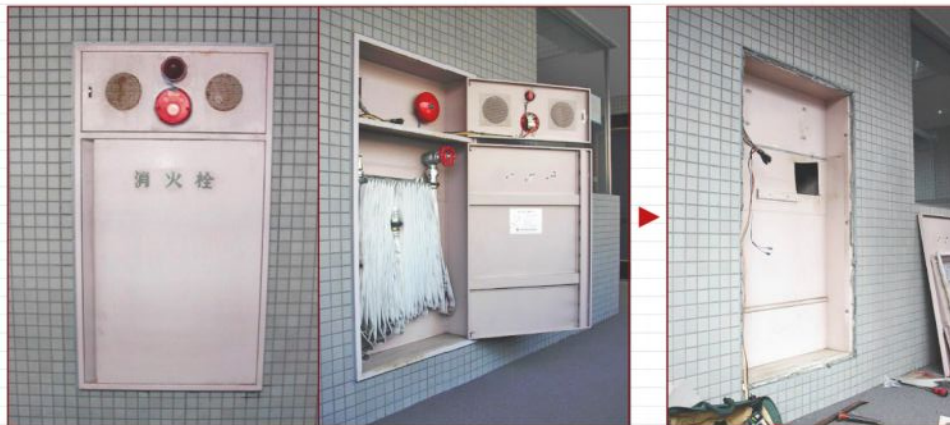
■施工方法

既設のバルブを取外してBOXを全て撤去する工法や既設のバルブを取外さずにBOXを全て撤去する工法、また、完全に既設BOXが埋込んである場合には、カバー工法で施工。というように、施工方法も状況に合わせた提案をいたします。



- ◆BOXは設置状況によって構造、内容が異なります。
- ◆製品改良・改善のため、仕様その他を予告なく変更することがありますので予め御了承ください。

工事手順 (写真は壁埋込型のカバー工法の例です)



①施工前

②付属部品を取外し、扉や外枠などを撤去してください。
(注:階下にゴミが落ちるので充分養生してください。)



③改修用消火栓BOXを取付け、付属品取付け、配線処理を行ってください。

④枠のまわりをコーキングしてください。 ⑤施工後

◆工事内容は既設及び改修BOXの仕様によって異なりますので事前に確認してください。

改修のチェックポイント

- 扉が開かない、または開きにくいもの。
- 扉が閉じない、または閉じにくいもの。
- 扉が離脱しているもの。
- 内部に雨水等が流入し、枠や器具に腐食等が生じているもの。
- 内部の器具やその取付金具の腐食により、正常な使用ができないもの。
- 有資格者の点検により取替が必要と判断されたもの。
- 不具合に至らない錆の状態でも腐食の進行が早い場合があるので留意してください。